

# 資料提供

石川県立美術館

## 報道各位

日頃から当館の広報につきましてご協力をいただき、ありがとうございます。

平成29年11月11日（土）～12月17日（日）の間、「東京国立近代美術館工芸館名品展」を別紙のとおり開催します。

以上、ご案内申し上げますとともに、広報宜しくお願い致します

## 東京国立近代美術館工芸館名品展

# 陶磁いろいろ

平成29年11月11日（土）～12月17日（日）

### 【資料提供】

石川県立美術館

金沢市出羽町2番1号

電話 076-231-7580

担当：普及課 北澤

URL ; <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

E-Mail ; [ishibi@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:ishibi@pref.ishikawa.lg.jp)

## 東京国立近代美術館工芸館名品展 陶磁いろいろ

平成29年11月11日(土)～12月17日(日)

石川県立美術館 第5展示室



石黒宗麿作 黒釉褐斑鳥文鉢 1958年

政府関係機関の地方移転の一環として、東京国立近代美術館工芸館が移転することとなり、石川県金沢市に日本海側初の国立美術館が誕生します。

独立行政法人国立美術館、石川県、金沢市では、移転に向けた気運の醸成を図るため、実行委員会を組織して、移転までの毎年度、県内で東京国立近代美術館工芸館の所蔵品を紹介する展覧会を開催することとしました。

二回目となる本年度は、重要無形文化財保持者(人間国宝)の方をはじめとした所蔵の陶磁54点を紹介します。

主な出品作品	志野茶碗	荒川豊蔵
	黒釉褐斑鳥文鉢	石黒宗麿
	色絵金銀彩四弁花文飾壺	富本憲吉
	色入菖蒲図花瓶	初代宮川香山

問い合わせ先

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号 石川県立美術館  
電話 076-231-7580 FAX 076-224-9550

## 開催概要

会期	平成29年11月11日(土)～12月17日(日)
開館時間	午前9時30分～午後6時(入館は閉館30分前まで)
主催	「東京国立近代美術館工芸館名品展」開催実行委員会 石川県・金沢市・東京国立近代美術館
後援	文化庁・北國新聞社
会場	石川県立美術館2階第5展示室
アクセス	JR金沢駅から兼六園シャトル「県立美術館・成巽閣前」下車徒歩2分 北陸自動車道金沢西・金沢東・金沢森本インターより20～30分 〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1
観覧料	一般360円(290円) 大学生290円(230円) *( )内は20名以上の団体。 高校生以下は無料 65歳以上は人数に関わらず290円。 ※上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。 ※12月4日(月)は無料観覧日です。

## イベント情報

内容や日程については変更の可能性があります。最新情報はHPでご確認ください。

### ◆講演会「日本の近現代陶芸―歴史と鑑賞―」&ミュージアムコンサート (入場無料)

日時 12月2日(土) 午後1時30分～

会場 石川県立美術館ホール

講師 金子賢治氏(現 茨城県陶芸美術館長、前 東京国立近代美術館工芸課長)

※講演会に先だって、ミュージアムコンサートが午後1時30分より行われます

※いずれも無料、申込不要・先着200名

### ◆ギャラリートーク(要観覧料)

日時 11月11日(土) 午後2時

11月12日(日)、12月10日(日)、17日(日) 午前11時～

会場 石川県立美術館第5展示室

### ◆タッチ&トーク

日時 11月25日(土) 午前11時～

会場 石川県立美術館第5展示室ほか

工芸館オリジナル鑑賞プログラム。〈さわってみようコーナー〉と会場トークの2部構成で、さまざまな角度から展覧会の見どころを紹介します(約1時間)。

※当日申込受付・先着10名

(参考)

東京国立近代美術館工芸館は、陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィック・デザインなど、近現代の工芸およびデザイン作品を展示紹介する東京国立近代美術館の分館として、昭和 52（1977）年 11 月 15 日に開館し、平成 29 年 3 月末現在、約 3,700 点を所蔵しています。

建物は、明治 43（1910）年 3 月に建てられた、陸軍技師・田村鎮の設計による、近衛師団司令部庁舎を改修して美術館仕様としたものです。

この建物は第 2 次大戦後、一時期荒廃して放置されており、取り壊しの対象となりましたが、明治洋風煉瓦造建築の一典型として、また、その建築的価値を惜しむ声がよせられ、昭和 47（1972）年 9 月に、「重要文化財に指定のうえ、東京国立近代美術館分室として活用する」旨の閣議了解がなされ、同年 10 月、「旧近衛師団司令部庁舎」として重要文化財に指定されました。

外観と玄関、広間の保存修理工事を施し、谷口吉郎による展示室の設計に基づく内部の改装によって、工芸部門の展示施設として再生された建物は、昭和 52（1977）年 11 月、東京国立近代美術館工芸館として開館しました。修復にあたって、屋根は建築当初のスレート葺に還元され、正面ホールから 2 階に伸びる両袖階段に往時の重厚な装いを見ることができます。ゴシック風の赤煉瓦の簡素な外観は、四季折々に周辺の樹木と調和して、独特のたたずまいをみせています。



東京国立近代美術館工芸館 外観

広報用図版 請求票 FAX : 076-224-9550 広報担当 行

発信日 年 月 日

1	初代宮川香山	色入菖蒲図花瓶	1897~1912年頃
2	富本憲吉	色絵金銀彩四弁花文飾壺	1960年
3	楠部彌弼	新生蒼花瓶	1967年
4	ルーシー・リー	ピンク象嵌小鉢	1975~79年頃
5	重松あゆみ	骨の耳' 96-1	1996年
6	松井康成	練上嘯裂文大壺	1979年
7	加藤清之	作品 65	1965年
8	荒川豊蔵	志野茶碗	1957年
9	柳原睦夫	紺釉金銀彩花瓶	1971年
10	石黒宗麿	黒釉褐斑鳥文鉢	1958年

- ご希望の図版の番号左に✓を入れてFAXでお送りください。
- 作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- 展覧会広報のみにご使用ください。
- キャプションには東京国立近代美術館蔵と明記してください。  
(例：石黒宗麿《黒釉褐斑鳥文鉢》1958年 東京国立近代美術館蔵)  
ルーシー・リー《ピンク象嵌小鉢》は、Estate of the artistと明記してください
- 著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名： E-mail：

貴社名：

出版物・放送番組・ウェブサイト名：

URL (http://www

)

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等：

電話番号： ( )



① 初代宮川香山



② 富本憲吉



③ 楠部彌弐



④ ルーシー・リー  
Estate of the artist



⑤ 重松あゆみ



⑥ 松井康成



⑦ 加藤清之



⑧ 荒川豊蔵



⑨ 柳原睦夫



⑩ 石黒宗磨

東京国立近代美術館工芸館名品展

# 陶磁

いろいろいろいろ



2017  
11.11 (sat) -  
12.17 (sun)  
9:30-18:00

(入館は17:30まで)



石川県立美術館  
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

観覧料／一般 360(290)円 大学生 290(230)円

○( )内は20名以上の団体料金。消費税込。上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。  
○高校生以下無料。入館の際、学生証、運転免許証等の年齢が分かるものをご提示ください。

主催／「東京国立近代美術館工芸館名品展」開催実行委員会、石川県・金沢市・東京国立近代美術館  
後援／文化庁・北國新聞社

今年、開館40周年を迎える東京国立近代美術館工芸館は、2020年を目標に、石川県へ移転します。これまで工芸館では、明治以降から近現代の作家による作品を、約3700点以上収集してきました。そこで開館に向け、昨年に引き続き、工芸館のコレクション展を、石川県立美術館にて開催いたします。本年度は、「陶磁」分野から、約50点をご紹介します。

陶土や磁土を焼成する工程から、「やきもの」という言葉で親しまれてきた陶磁。色絵、三彩、金銀彩、瀬戸黒、染付、青磁、白磁、焼締…、色や質感を生み出す技法は、並べだしたらキリがありません。また、今日では、茶碗や皿、花器からオブジェまで、形の選択肢も広がりを見せています。本展では、「いろいろ」に表現された陶磁の造形をお楽しみください

# 陶磁 いろいろ



- 表 初代宮川香山《色入菖蒲図花瓶》c.1897-1912
- ① 富本憲吉 《色絵金銀彩四弁花文飾壺》1960
  - ② ルーシー・リー 《ピンク象嵌小鉢》c.1975-79  
Estate of the artist
  - ③ 楠部彌次 《新生着花瓶》1967
  - ④ 重松あゆみ 《骨の耳'96-1》1996
  - ⑤ 松井康成 《練上嘯裂文大壺》1979
  - ⑥ 加藤清之 《作品65》1965
  - ⑦ 荒川豊蔵 《志野茶碗》1957
  - ⑧ 柳原睦夫 《紺釉金銀彩花瓶》1971
  - ⑨ 石黒宗磨 《黒釉褐斑鳥文鉢》1958



## ACCESS

### バス

JR金沢駅から「兼六園シャトル」乗車15分、  
「県立美術館・成巽閣前」下車徒歩2分

### 自家用車

北陸自動車道金沢西IC、金沢東IC、  
金沢森本ICより20～30分

## ① 講演会&ミュージアムコンサート

12月2日(土)

ミュージアムコンサート 13:30～ 「ミニコンサート 制作者インタビュー」

講演会 14:00～ 「日本の近現代陶芸—歴史と鑑賞—」 金子賢治氏(茨城県陶芸美術館長)

## ② ギャラリートーク 申込不要/要観覧券

11月11日(土) 14:00～、11月12日(日)・12月10日(日)・12月17日(日) 11:00～

## ③ タッチ&トーク 申込不要/要観覧券

11月25日(土) 11:00～ 工芸館オリジナルプログラム

〈さわってみようコーナー〉と会場トークの2部構成で、さまざまな角度から展覧会のみどころを紹介します。

※当日申込受付・先着10名

## 東京国立近代美術館工芸館名品展連携事業

① 0才からのファミリー鑑賞会 11月11日(土) 14:00～、11月12日(日) 10:00～ ※定員:各回30名 要申込

② 紙漉体験 11月26日(日) 10:00/14:00(2回) ※定員:各回10名 要申込

※①・②ともに石川県立美術館にて開催

## 金沢卯辰山工芸工房 平成29年度特別展「乾漆-KANSHITSU-展」

10月7日(土)～11月20日(月) 於:金沢卯辰山工芸工房

# 石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1

TEL 076-231-7580

<http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>



講演会

# 「日本の近現代陶芸 —歴史と鑑賞—」

in 県立美術館

〈日時〉平成29年 **12月2日(土)**

〈会場〉石川県立美術館ホール

**参加費無料**

事前申込不要

13:00～ 受付開始

13:30～

## ミュージアムコンサート 制作者インタビュー

輪島市の漆器工房「大徹八井漆器工房」が制作した  
輪島塗のヴァイオリンを坂口昌優氏が奏でます。  
ヴァイオリン制作にまつわるお話もお聞きします。



大徹八井漆器工房  
八井 汎親氏



ヴァイオリン  
坂口 昌優氏



チェロ  
細川 文氏



ピアノ  
鶴見 彩氏



司会 的場 絢香 (モデル・レポーター)

石川テレビ「石川さん情報Liveリフレッシュ」他、  
エフエム石川「Ciao! ～style up your life～」  
レギュラー出演中。



14:00～ 講演会

## 「日本の近現代陶芸 —歴史と鑑賞—」

前東京国立近代美術館の工芸課長、金子賢治氏が、  
陶芸の歴史を紐解きながら陶芸の鑑賞方法や  
面白さを解説し、陶芸の楽しみ方について講演します。

金子 賢治氏 (茨城県陶芸美術館長)

現代陶芸評論の第一人者。前の東京国立近代美術館工芸課長として  
日本工芸全般を取り上げる現在の工芸館のあり方を確立した。

県立美術館にて開催/11月11日(土)～12月17日(日)



東京国立近代美術館工芸館名品展  
「陶磁いろいろ」

2020年に石川県へ移転する工芸館のコレクションを展示します。  
「やきもの」という言葉で親しまれてきた陶磁。色や質感を生み出す  
技法は並べ出したらキリがありません。  
「いろいろ」に表現された陶磁の造形をお楽しみください。

講演会参加者は  
観覧料無料

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

「東京国立近代美術館工芸館名品展」開催実行委員会

(石川県文化振興 課内) 平日9:00～17:00 TEL:076-225-1371

TOKYO 2020  
文化  
オリンピック

